

1 知識及び技能の基礎

こんなときどうしよう

あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識及び技能は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫しています。

豊富な資料

上下巻末の「かくしゅうずかん」では、調べ方・記録のしかた・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、道具の使い方・安全上の注意などが示されたりして、基本的な知識及び技能や学び方が身につくよう工夫しています。

こんなときどうしよう！



上巻 p.39

2 思考力、判断力、表現力等の基礎

3段階構成

生活科の学びのプロセスを考慮し、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、低学年の学びの基礎や探究的な学び方が身につくように構成しています。

多様な学習活動

気付いたことを基に考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の例を写真・表現物・イラスト・子どもの台詞などで示しています。

言語活動の充実

言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導、中学年への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくように配慮しています。

わく  
わく

いき  
いき

ぐん  
ぐん

3 学びに向かう力、人間性等

単元末の「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする態度を育てます。

できるかな できたかな？

学習を通して気付いたこと、わかったことを主体的に確かめることができるように、活動をふり返る視点の例を示しました。

- ・子どもにとって  
自己評価の視点になります。
- ・先生方にとって  
育てたい子どもの姿を具体的に示しているため、指導や評価に役立ちます。

できるかな できたかな？

なんかい 何回も ためして おもちゃを つくったよ。



みんなて 楽しく あそぶ  
くふうを したよ。



友だちの おもちゃの すてきを  
見つけたよ。



ひろがる  
きもち

ねんせい 1年生を しょうたい  
したいな。

どうしたら ねんせい  
たの 楽しめるかな？



67

下巻 p.67

ひろがるきもち

学習を通して学んだことを、さらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を示しています。